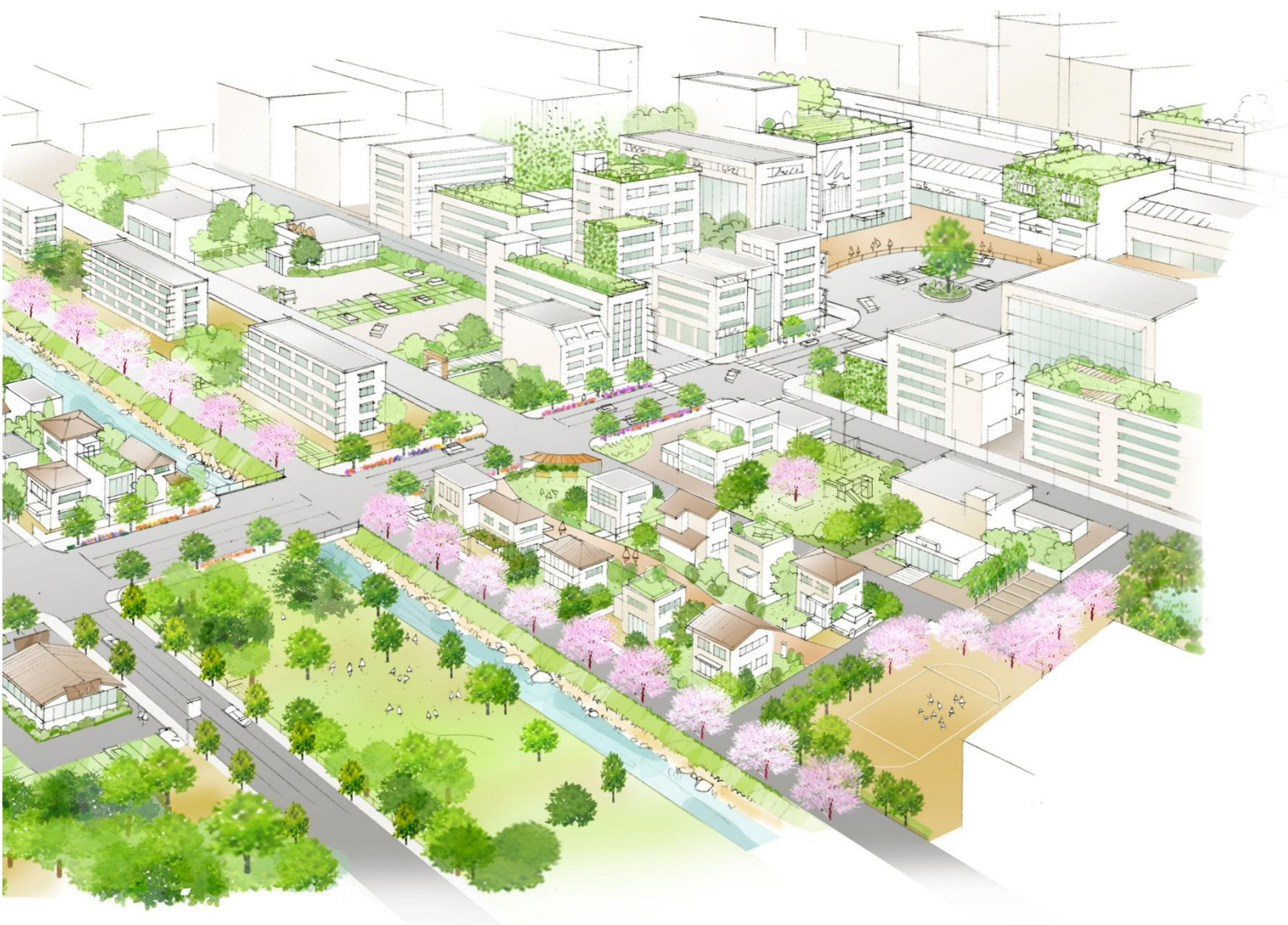


みんなで作ろうみどりの街 ～緑化の手引書～



所 沢 市

目次

一緒にみどりの街づくりをしましょう	2
第1章 みどりをつくる	3
1. 戸建て住宅でみどりをつくる	3
2. 集合住宅でみどりをつくる	5
3. 店先や商店街でみどりをつくる	6
4. 大きな商業店舗でみどりをつくる	7
5. 工場や事業所などでみどりをつくる	8
6. みどりをつくる様々な方法	9
第2章 植栽と管理の注意点	11
1. 植栽の注意点	11
2. 管理の注意点	13
第3章 みんなでみどりを育てよう	15
1. みどりの活動に参加しよう	15
2. 地域でみどりをつくろう	16
みどりに関する問合せ先	17
1. 庭づくりの相談先	17
2. 各制度の問合せ先	18



戸建て住宅の玄関まわり



ガーデニングのお庭



集合住宅のエントランス



商店の店先



商店街のプランター



工場などのまわり



駐車場の緑化



みどりのカーテン



みどりの多い街並み

一緒にみどりの街づくりをしましょう

みなさん、所沢の「みどり」というと、どのようなものが思い浮かびますか。狭山湖のまわりに広がる狭山丘陵や武蔵野の雑木林、家族みんなでくつろげる航空記念公園などの大きく広がる「みどり」ですか。それとも、パンジーなどのかわいい花を玄関先に飾り、家を生け垣で囲い、庭に木を植えることなどを考えますか。

人それぞれ、その時々により思い浮かぶ「みどり」には違いがあるものの、すべて「みどり」と言ってもよいでしょう。

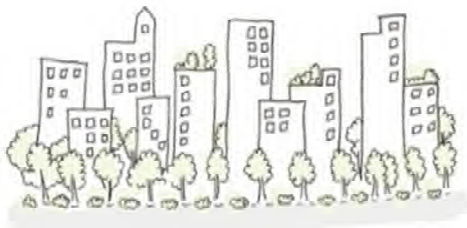
街には、住宅や店舗、工場などさまざまな建物が目に入ります。ひとつひとつの建物が木や花で彩られれば、潤いとやすらぎのある、美しい街並みを演出することができます。

所沢に昔からある木や草花を皆さんが植えることで、「みどり」が繋がる街並みになれば、所沢という「郷土」を感じることができ、また、多くの生きものの住むところがつくりだされます。

この手引書は、「みどりの街づくり」を進めるため、みなさまにご理解とご協力をいただき、実際に「みどり」を創っていくポイントを紹介しています。ぜひご活用ください。

みどりの機能

みどりには様々な機能があります。そのうちの主なものを紹介します。



街並みの景観をつくります



火災の延焼防止や地震などの自然災害の際の避難場所になります



ヒートアイランド現象の緩和など快適な生活環境をもたらします



さまざまな野生生物が息づく場所を提供します

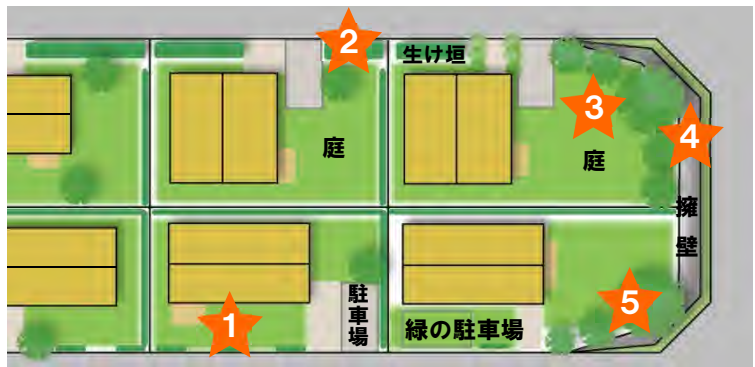
第1章 みどりをつくる

身近なところでみどりをつくっていくことが、みどりの街づくりの第1歩となります。ちょっとした工夫や働きかけで、街を彩る素敵なみどりをつくりだすことができます。

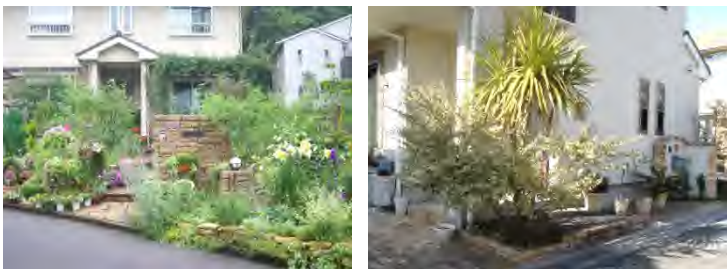
本章では、みどりをつくるいくつかのアイデアを紹介します。みどりの街並みにしていくために、「自分がしたいこと、できること」を見つけ、積極的に取り組んでいきましょう。

1. 戸建て住宅でみどりをつくる

家を建てるときに、庭をどう配置しようか、駐車場や花壇、生け垣にはどんな木を植えようか、そんなことを考えてみましょう。一軒一軒が工夫すると街はみどり豊かになります。



★ 1 前庭を工夫して通りをみどりにしよう



庭が道路に面している家は、高い塀で囲わずに、街並みの景観に活かせるように家のまわりの植栽を工夫しましょう。

★ 2 美しい生け垣をつくろう



生け垣が連続する景観は格調高い街並みを印象づけます。

★ 3 地域で育まれてきた木を植えよう



まわりの雑木林にある樹木や地域で育てられた樹木を植えましょう。

★ 4 塀やよう壁を緑の壁に変身させよう



よう壁などの上部や足元に植栽帯を設けて圧迫感を和らげましょう。

★ 5 実のなる木を植えて生活を楽しもう



ガマズミ

サクラランボ
(ソメイヨシノ)

実のなる木を植えると、食べる楽しみや、鳥などが飛来する楽しみが増え、生活が豊かになります。

庭づくりに興味がある人は・・・

庭に木を植えましょう。木があることで住む人や道行く人の心やすらぐ空間となります。小さな苗木からでも始めてみませんか。時が経つにつれ共に成長し、家族の歴史を感じる空間となるでしょう。

ガーデニングが好きな人は・・・

自宅の庭でガーデニングを楽しむ人が増えています。手入れされた庭は心を和ませてくれると同時に、街に華やぎと彩りを与えます。また、そんな素敵な庭を色々な方に見ていただくのも楽しみの一つとなります。

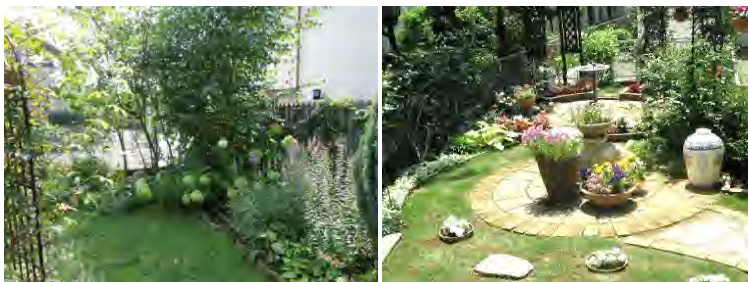


とことこガーデン事例

「とことこガーデン」

玄関先の花づくりからガーデニングまで、様々な花づくりの取組みを進め、彩り豊かな街の景観を育むため、庭を公開していただける市民および事務所などを登録して「とことこガーデンマップ」やホームページで紹介しています。

→ 問合せ先 P18 参照



とことこガーデン事例

ほかにもおうちで出来る色々なこと

他にもおうちで出来ることはたくさんあります。ちょっとした工夫をしながら、みどりを増やしましょう。

●玄関周りを花で飾ろう

花鉢やプランターなどに季節の花を植えて玄関周りに置くと、街は華やいで見えます。

●庭に生きものの住める空間を作ろう

都市部には意外に「水場」がありません。水鉢やバードバスを置くと鳥たちにとって、とても貴重な場所となります。またエサ台を置くと色々な鳥がやってきます。みなさんも鳥たちと共に暮らしてみませんか。



玄関周りの演出事例



水鉢設置事例

2. 集合住宅でみどりをつくる

集合住宅の住まいを選ぶ時、みどりの多さ、共用の庭のつくり、エントランスの花壇の広さなどを検討してみましょう。みどりが多い場所を選ぶことは、みどりの街づくりにもつながっていきます。住んでからもみどりを大切にする生活をしていきましょう。



★ 居住者が管理に参加できる植栽地をつくり、みんなでみどりを育てよう



居住者がみどりの管理に参加できる植栽地をつくって、みどり豊かな集合住宅を維持しましょう。また、管理を通じて、居住者のコミュニティを深めましょう。

★ 花木など季節感のある植物を取り入れて、身近な庭で四季を感じてみよう



みどりの管理に参加できる場所ができれば、居住者が憩い、集いitくなるような季節感のある植物を取り入れましょう。

★ 生きものが住む花壇や草地をつくりましょう。



生きものが住む花壇や草地をつくって、地域の生物多様性に貢献しましょう。例えば蝶が来る庭づくりでは、蝶の幼虫の餌となり、成虫が卵を産みに来る植物、蝶の成虫が蜜を求め飛来する植物などを選ぶことがポイントです。

3. 店先や商店街でみどりをつくる

お店や商店街は、一般的に人通りの多い道路に面し、多くの人の目に触れるところに立地しています。それぞれのお店や商店街で緑化に取り組めば、通りは華やかになり、行き交う人を楽しませることができ
ます。

① 店先を彩る

お店の入口部などを上手に緑化している事例が多く見られます。このように花壇やプランターなどを組み合わせると、より个性的にお店を彩ることができます。ただし、プランターや植木鉢の設置にあたっては、風などによって転倒しないための配慮が必要です。



プランターや植木鉢で彩る



ミモザやハーブなどのカラーリーフによって店先を彩る



プランターや植木鉢で彩る



道路沿いの花壇にミニ菜園をつくる

② 商店街を彩る

商店街はその街の特色を印象づける重要な場所です。商店街の通りは行政により街路樹などが植えられることがあります。そこで、商店街の皆さんも行政と協力して緑化を行い、彩りのある街並みを演出しましょう。

また、十分な植栽地を確保することが難しい場合は、植木鉢、プランター、ハンギングバスケットなどを組み合わせながら、スペースを有効に活用しましょう。



連続性のある駅前緑化事例



ハンギングバスケットやプランターなどは狭い場所でも設置可能な緑化ツールです。歩道、ロータリー、待合スペース、広告スペースなどを華やかに彩りましょう。

4. 大きな商業店舗でみどりをつくる

大きな商業店舗の緑化できる主な部分として、広い駐車場と道路沿いのスペースなどが挙げられます。また、木陰の休憩コーナー設置や壁面緑化・屋上緑化なども企業イメージ向上のためにも効果的です。



★ 看板などの周りを草花で彩ろう



お店の“顔”ともいえる看板や銘板の周りを草花や低木で彩ると、華やいだ雰囲気になります。

★ 木漏れ日が心地よい休憩コーナーをつくろう



買い物の待ち時間などに、気軽に休憩できる木漏れ日スペースがあると、安らぎも提供できる事になります。

「民間施設緑化補助事業」

民間施設で行う公開性のある緑化事業に対して埼玉県が整備費の補助を行う制度です。対象となる事業は、屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化、先駆的な緑化、樹木の植栽、芝その他の地被植物による緑化です。→ 問合せ先 P18 参照



補助事業事例：写真左ルミネ大宮店、写真右本川越駅

緑化のメリット

- 1 **お客様サービスの向上**
木陰やかわいい草花で、休憩場所や同行者・ペットの待ち合い場所などを演出すればサービスの向上につながります。
- 2 **企業イメージアップ**
環境に配慮した緑化活動を積極的に行うことで、企業のイメージアップが図れます。
- 3 **ランドマーク創出による集客力アップ**
特徴的な大きな木などを植えることにより、「あの〇〇の木があるお店だね!」と認識され、店舗を印象付けることができます。

5. 工場や事業所などでみどりをつくる

みどりを適切に維持管理して快適な職場環境をつくりましょう。敷地のまわりを緑化して森のようにすることは、地域環境の向上につながるでしょう。



★ 敷地のまわりのみどりを森にして地域に貢献しよう



ゆとりのある敷地の場合は、まわりのみどりを高木・中木・低木・生け垣などを組み合わせた多層構造にして、「森」をつくりましょう。高木・低木・地被植物など厚みのある樹種構成が理想的です

★ 働く人がリラックスできる場をつくろう



中庭や屋上などに広場や花壇・畑などを設置し、働く人が草花に囲まれながら休憩・リラックスできるスペースをつくりましょう。

★ 水辺のビオトープをつくろう



地上や屋上に水辺のビオトープをつくって、生きものすみかを増やしましょう。

緑化のメリット

1 労働活力の回復をサポート

室内作業で疲れた心身をみどりの空間で休ませるなど疲労回復に役立ちます。

2 CSR活動推進の場

企業の社会的貢献活動の一環として、植物を植え管理することで、CO2吸収による地球温暖化の防止や地域の生物多様性の保全に貢献できます。

3 地域環境への貢献

まとまったみどりが維持管理されることで、地域環境の向上や景観性の向上に貢献することができます。

6. みどりをつくる様々な方法

戸建て住宅や集合住宅、店舗や事業所などで共通して取り入れられる緑化方法を紹介します。ちょっとしたことから工事が必要なものまでありますが、工夫して取り組んでみましょう。

また、建物の壁や屋上、駐車場などをみどりで覆うことは、ヒートアイランド現象の抑制や雨水の地下浸透対策としても有効ですので、これらの緑化を行いながら地域環境の改善にも貢献していきましょう。

★ 植木鉢やコンテナ樹木、ハンギングバスケットなどでみどりを増やそう

玄関先やエントランスなど狭い場所でも植木鉢、プランター、コンテナ樹木などでみどりを増やすことができます。広いスペースがなくても、ハンギングバスケットや、塀に掛ける植木鉢などで花や草を育てましょう。また、みどりを立体的にアレンジして、人々をなごませましょう。



植木鉢などを使った事例



コンテナ樹木の事例



塀に植木鉢を掛けた事例



ハンギングバスケット事例

★ 生け垣で通りに潤いを与えよう

美しい生け垣を作るには、長い時間と手間がかかりますが、本市にはきれいに刈り込まれた伝統的な生け垣が数多く残っています。生け垣には主に、キャラ、マキ、キンメツゲ、イヌツゲ、ヒイラギモクセイ、シラカシなどの樹種が使われます。



伝統的な生け垣



生け垣が続く街並み



生け垣が続く街並み



建築物のまわりに設置した生け垣

★ 3 壁面緑化でみどりを増やそう

壁面緑化は、壁面を覆う方法により、登はん型・下垂型・基盤造成型に大別されます。それぞれの特徴を活かしながら、壁面緑化を取り入れましょう。また、より簡単にできる方法として、アサガオやゴーヤなどによる「みどりのカーテン」があります。気軽に植物の成長を楽しむことができますとともに、収穫もでき、さらに窓から入る風は涼やかなものとなります。



登はん型の事例



下垂型の事例



基盤造成型の事例

★ 4 屋上緑化でみどりを増やそう

建物の屋根や屋上に植栽基盤をつくり、植物を植えることを屋上緑化といいます。主に、土壌が厚く多種類の植物を選択することが可能なものから、薄い土壌で芝や花などの草本類で緑化する方法、コンテナ(プランター)などによるものに大別されます。最近では薄い土壌でも高木が育つものも開発されています。用途、維持管理面、意匠性などを考慮しながら緑化を進めていきましょう。



屋上緑化の事例

★ 5 駐車場緑化で環境を改善しよう

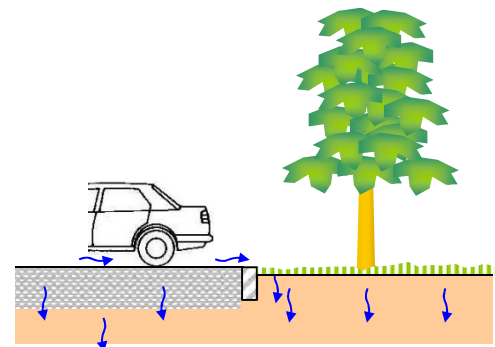
駐車スペースをすべて舗装せず、芝生保護材などを用いながら芝生や地被植物によって駐車スペースを緑化する方法があります。夏場の照り返しや温度上昇を抑制し、雨水浸透を促す効果が期待できます。また、駐車スペースの間に高木などを植栽するとより効果的です。是非皆さんで取り組んでみましょう。



駐車スペースの間に高木などを植栽した例



駐車スペースの芝生による緑化の例



駐車場は透水性・保水性舗装にします。透水性が図れない場合は雨水を植栽帯に誘導します。

第2章 植栽と管理の注意点

1. 植栽の注意点

植物にはそれぞれ個性（特性）があります。植物の種類や植える場所、植える時期などを検討する際には、それらの個性に合わせて行うことが大切です。

① 植物を選ぶ時の注意点

樹木の中には、**病虫害（赤星病など）を発生させやすい木**（カイヅカイブキなどのビャクシン類や一部コニファー類）があり、それらは果樹園（ナシ園など）に害を与える恐れがあります。

② 樹木を植える時期の注意点

樹木を植える時期は、イチョウ、サクラ、ウメなどの落葉樹は11月から4月、クスノキ、ヤマモモなどの常緑樹は4月、6月、9月、アカマツなどの針葉樹は11月から4月が良いとされています。真夏の時期や霜が降りる厳寒期はできるだけ避けましょう。

③ 植える場所の注意点

日当たり一つとっても、**日向も日影も好きな木**（クスノキなど）、**日向の方が好きな木**（アカマツ、ウメ、サクラ、ケヤキなど）、**やや日影が好きな木**（ビワ、ツバキ、アジサイなど）、**日影が好きな木**（アオキ、ヒイラギナンテン、マンリョウなど）などその適応性は千差万別です。

また、**乾燥に強い木**（イチョウ、コナラ、ウメなど）、**湿潤環境に強い木**（カツラ、コブシ、エノキなど）など土壌水分条件も考慮が必要です。さらに、**枝が折れやすく建物や歩行者への注意が必要な木**（アラカシ、クスノキなど）、**大気汚染に弱い木**（アカマツ、モミ、ウメなど）、**成長の早い木、大きくなる木**などについても、留意する必要があります。

●植物参考リスト

樹種	形態的特性						推奨される用途				推奨される植栽環境				在来種	備考
	常緑 落葉 針葉 広葉	自然樹形における 樹高の目安				特徴	接 道 部	地 上 部	生 け 垣	屋 上	戸 建 住 宅	集 合 住 宅	商 業 店 舗	工 場 や 事 業 所 等		
		10m以 上	5 ~ 10m	2 ~ 5m	2m 以下											
高木類																
イ イチイ	常・針	○				実		○	○	○	◎	○			○	生垣に使用
イ チョウ	落・針	○				紅葉	○							○		銀杏のなるメスの木と、ならないオスの木がある
イ ロハモミジ	落・広		○			紅葉		○		○	◎	○	○			紅葉を楽しむ
カ カナメモチ	常・広		○			葉			○	○	◎		○			園芸種はレッドロビン
キ キンモクセイ	常・広		○			花		○	○	○	◎	○		○		秋に花が咲く
ク クスノキ	常・広	○					○					△		○		春先に落葉する
ク ヌギ	落・広	○				紅葉	○					○		○	○	
ケ ケヤキ	落・広	○					○					○		○	○	巨木になる
コ コナラ	落・広	○				紅葉		○			○	◎		○	○	
コ ニファー類	常・針	○						○	○	△		○		○		成長が早い
コ ブシ	落・広	○				花		○		△			◎		○	春先の花

樹種	形態的特性						推奨される用途				推奨される植栽環境				在来種	備考	
	常緑 落葉 針葉 広葉	自然樹形における 樹高の目安				特徴 花実 紅葉	接道 部	地上 部	生 け 垣	屋 上	戸建 住宅	集合 住宅	商業 店舗	工場や 事業所 等			
		10m以 上	5 ~ 10m	2 ~ 5m	2m 以下												
高中木類																	
サ	サトザクラ	落・広		○			花		○		△	◎	○			成長が遅い	
	サンゴジュ	常・広		○					○	○			○	◎	○	防火樹	
シ	シデ類	落・広	○				花	○	○				○		○	扇状の花	
	シラカシ	常・広	○					○		○	△	△			○		
ス	スタジイ	常・広	○					○							○		
ソ	ソメイヨシノ	落・広	○				花	○	○					△	○	剪定を嫌う	
ト	トキワマンサク	常・広			○		葉			○	○	◎	○	○		春先の花も楽しめる	
	トチノキ	落・広	○					○	○				○		○	近隣種にマロニエ	
ハ	ハナミズキ	落・広		○			花	○	○		△	◎	○	○		花色は白・赤	
ヒ	ヒイラギモクセイ	常・広		○				○		○	○	◎	○		○	葉にとげがある	
マ	マサキ	常・広			○					○	○	◎	○		○	葉が黄色の黄金マサキもある	
ム	ムクノキ	落・広	○					○	○						○	巨木になる	
ヤ	ヤマボウシ	落・広		○			花		○				○		○		
	ヤマモモ	常・広	○				実	○	○				○	◎	○	実は赤い	
低木類																	
ア	アベリア	常・広				○	花	○			○	○	◎	○	○	刈り込みに耐える	
	アオキ	常・広			○		実	○	○	○	○	○	○	○	○	日陰に耐える	
	アジサイ	落・広				○	花	○	○		○	○	◎	○	○	半日陰に耐える	
ク	クチナシ	常・広				○	花	○			○	◎	○	○	○	白い花	
コ	コデマリ	落・広				○	花	○	○		○	○	◎	○	○	扇状の花	
サ	サツキツツジ	常・広				○	花	○			○	◎	○	○	○	丈夫な樹木	
シ	シャリンバイ	常・広				○		○	○		○	○	◎	○	○	乾燥に耐える	
	ジンチョウゲ	常・広				○	花	○			○	◎	○	○	○	移植が困難	
セ	セイヨウイワナンテン	常・広			○	○	花	○	○	○	○	◎	○	○	○		
チ	チャノキ	常・広				○	花・実	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	刈り込みに耐える
ニ	ニシキギ	落・広				○	紅葉	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	紅葉がきれい
ハ	ハイヒヤクシン	常・針				○		○	○		○	○	○	○	○	地面を覆うコニファー	
ヒ	ヒイラギナンテン	常・広				○		○	○		○	○	◎	○	○	葉はノコギリ状	
ヤ	ヤマブキ	落・広				○	花	○	○		○	○	◎	○	○	黄色の花	
レ	レンギョウ	落・広				○	花	○	○		○	○	◎	○	○	黄色の花	
	レンゲツツジ	落・広				○	花	○	○		○	○	◎	○	○		
地被類																	
イ	一年草草本類(花)	草本				○	花		○		○	◎	○	○	○		
コ	コウライシバ	草本				○			○		○	○	○	○	○	冬に葉は枯れる	
サ	ササ類	草本				○			○		○	◎	○	○	○	オカメザサ、コグマザサ、クマザサ等	
タ	タケ類	草本			○						○	◎	○	○	○	マダケ、トウチク等	
	タマリユウ	宿根草				○			○		○	◎	○	○	○		
ツ	ツルニチニチソウ	宿根草				○	花		○		○	◎	○	○	○	乾燥に耐える	
フ	フィリヤブラン	宿根草				○	葉		○		○	◎	○	○	○	日陰に耐える	
	フッキソウ	常・広				○	花		○		○	◎	○	○	○	明るい常緑の葉が特徴	
ハ	ヘデラ類	広・常・落				○	葉		○		○	◎	○	○	○	常緑の品種有	

◎ 特に適している ○ 適している △ 適切な管理が必要

出典：造園施工管理改訂版技術編、社団法人日本公園緑地協会、1993、P93 - 125、一部改変

2. 管理の注意点

植物を健全な状態で維持するためには、植栽後の適切な管理が重要です。自分で管理する時や、造園業者などに相談する時の注意点をまとめました。

① 日頃の管理のポイント

土づくり・・・樹木を植える前には堆肥や腐葉土を入れて土づくりをしましょう。

草刈・除草・・・樹木の根元に草が過度に繁茂すると、樹勢が弱まったり病虫害が発生しやすくなったりすることがあるので、過度に繁茂した場合は草刈・除草を行いましょう。

施肥・・・・・・植物が育つには栄養が必要です。樹木が弱ってしまう前に、緩効性の肥料とともに腐葉土をいれると効果的です。

水やり・・・・・・施肥と同様、植え付けてしばらくの間は、こまめに水やりを行いましょう。また、夏場は土の温度が高いため、日中に水をあげると水がお湯のようになってしまうため、樹木に悪い影響を与えます。できるだけ朝や夕方の時間帯に水やりを行いましょう。

剪定・・・・・・最終的な大きさや形をイメージして、樹木が大きくなりすぎないように適度に剪定をしましょう。

注意

樹木の種類によっては、とても大きく成長するものがあります。植えた時は小さく、自分で管理ができたとしても、やがて大きく成長すると、大量の落ち葉の処理や枝の剪定などに困ることがあります。樹木を植える際には将来のことを考え、それに適した樹木を選びましょう。

② 目的に応じた樹木の大きさ

樹木の管理には、「大きく育てる管理」と「一定の大きさを維持し続ける管理」の2つの方法があります。「大きく育てる管理」を行うと、植物が本来もつ自然的な美しさ・景観や、安定した動物の生息環境が作られていきます。一方、「一定の大きさを維持し続ける管理」は、植物の生長をとめて植栽時と同じ形や大きさで維持する方法で、生け垣や玄関周りの樹木などが該当します。植栽時の形を保つことは、毎年の手間がかかりますが、きれいに保つことで街を美しく魅せることができるでしょう。



「一定の大きさを維持し続ける管理」の事例（生け垣、仕立てた庭木、枝垂れ梅、目隠し植栽）

③ 樹木にいる危ない生きもの

私たちの身近には、大量発生することで樹木を衰えさせ、枯らしてしまったり、周りの樹木にも被害を与えたりする虫がいます。また、樹木によっては毒のある毛を持つ虫が発生するなど、近寄るだけで痛い思いをする虫がいます。これらは大量発生する前に駆除することが大切です。また、人体に危害を加える虫には肌を露出して近寄らないなど、特に注意が必要です。

近づくと危険な生きもの



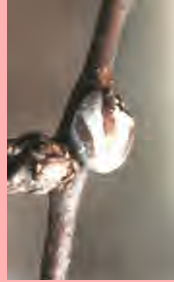
チャドクガの幼虫は、チャノキやツバキ、サザンカなどに発生します。近づくと毒針毛を飛ばし、かぶれます。



マツカレハ幼虫は、アカマツやクロマツ、ヒマラヤスギなどによく発生します。刺されるとはれて、痛みが続きます。



イラガの幼虫は、ソメイヨシノやウメやカキノキなどに発生し、刺されるととても痛いです。幼虫は見つけにくいですが、落葉した後、枝や幹にまゆの殻を見つけたら、翌年は十分注意しましょう。



大量発生すると木を枯らしてしまう生きもの



アメリカシロヒトリの幼虫は時々大量発生します。1年に2~3回発生し、葉っぱを食べつくし、木は弱り、最後は枯れてしまうことがあります。

④ 身近な生きものに配慮した維持管理

みどりは鳥や虫などの身近な生きものにとって大切な生息の場です。卵を産んだり、葉っぱを食べたり、樹液や花の蜜を吸ったり、木の実を食べたりします。そのため、それらの生きもののライフサイクルに配慮しながら維持管理を行うと、より多くの生きものが生息できるようになります。

例えば、草刈では、全部一度に刈り取らないで、部分的に刈り残しても良いでしょう。また、蝶が飛来する庭をつくるためには、できるだけ種から草花を育てるとともに、花が終わってもすぐ抜き取らず草が枯れてから抜き取るなどが有効です。また、日頃から花壇などにどんな生きものがいるか観察して把握しておくことも重要です。

本市全体の生物多様性を向上させるためには、狭山丘陵などの大規模な樹林地も重要ですが、庭などの身近な小さな空間を互いにつなげていくことも大切です。



チョウの中には草を食べて成長するものがあります。草を刈る時は、幼虫がいないか確認しながら刈りましょう。
写真左：キアゲハの成虫、右：幼虫



バッタの仲間のために、草を全部刈らずに、一部は刈り残してあげましょう。
写真：ショウリョウバッタ



カマキリの卵は秋に産み付けられ春に孵化します。卵が産み付けられた枝などはそのまましておきましょう。写真：オオカマキリ卵胞

第3章 みんなでみどりを育てよう

みどりの街づくりには、敷地内にみどりをつくるだけではなく、街のところどころやオープンスペースにみどりをつくったり、残っている雑木林を管理したりすることも重要です。市内で行われている、様々なみどりの活動に参加してみましょう。

1. みどりの活動に参加しよう

一人ではできないことでも団体でなら取り組めるものがあります。自治会、企業、市民団体などの活動に参加して、もしくは自ら団体を立ち上げて、みどりの保全と創出に参加してみましょう

みどりのパートナー制度

本市では、市民協働によるみどりの保全や創出を推進するため、活動を希望する個人、団体等を登録する「**みどりのパートナー制度**」を創設しました。この制度では、みどりの保全や緑化の活動を行うための場所や資材の提供など、様々な活動支援を行っていきます。

・みどりの保全活動

樹林地を未来へ継承していくため、みどりのパートナー活動によって良好な樹林地の保全を行います。



・緑化の推進活動

街中の公共施設の公開利用ができる敷地で、みどりのパートナー活動によって緑化の推進を行います。(パブリックガーデン)



「みどりのパートナー活動団体」

・みどりの保全活動

北中ネイチャークラブ、菩提樹田んぼの会、緑のトラスト野老の森など

・緑化の推進活動

東狭山ヶ丘美化協議会、東川を愛する会、花と緑のオアシスづくり花園愛好会など

「さいたま緑のトラスト運動」

緑のトラスト保全第2号地「狭山丘陵・雑魚入樹林地」が市内にあります。さいたま緑のトラスト協会では、埼玉県内の企業や個人からなるボランティアスタッフにより保全管理を行っています



狭山丘陵・雑魚入樹林地

このページに関する問合せ先 P18 参照

③ その他の活動

市民団体及びNPO法人が、みどりを守る、増やす、育てる活動を行うとき、公的機関、民間企業などによる様々な助成金制度を活用することができます。これらを利用して活動を活性化させましょう。また、それらの活動に参加して、地域に貢献しましょう。



2. 地域でみどりをつくろう

地域において、緑地の保全や緑化に関する事項を法律で規定する制度があります。開発時に確保すべき緑地の面積などを規定する緑化制度のほかに、居住者間の同意のもとに行う協定・計画があります。制度を活用しながら、みどりが多く、景観性に優れた街並みづくりを行いましょう。

「ご近所協定」

家の塀・垣根や玄関先の花づくりなどについて、ご近所2軒以上でルールを設ける「ご近所協定」に取り組んでもらう市の制度で、参加者の取組み写真やコメントなどを市のホームページでご紹介します。

「地域緑化推進計画」

市民が自主的に緑化を推進しようとする一団の土地の区域において、緑化事業や緑地管理の方法などを定め、地域主体によるみどりの創出を行う市の制度です。

「地区計画」

地区の特性にあわせて良好な市街地としての環境整備を図るため、地区のきめ細かいルール（道路、公園、緑地、広場などの配置や規模、建築物の緑化率や垣又は柵の構造、樹林地や草地の保全など）を住民参加によって定める法律に基づく制度です。

「緑地協定」

地域において良好な環境を形成するため、緑地の保全や緑化に関する事項（保全・植栽する樹木の種類、垣または柵の構造、樹木の管理など）について土地所有者の合意によって協定を締結する法律に基づく制度です。

→ 問合せ先 P18 参照



緑地協定事例 椿峰地区



緑地協定事例 松が丘住宅



地区計画事例 三ヶ島工業団地

2. 各制度の問合せ先

市内の問合せ先

●みどりのパートナー制度、みどりのパートナー活動団体、緑地協定、地域緑化推進計画 窓口

・所沢市 環境クリーン部 みどり自然課

電話：04-2998-9373 FAX：04-2998-9195

E-Mail：a9373@city.tokorozawa.lg.jp

●とことこガーデン、ご近所協定、地区計画 窓口

・所沢市 街づくり計画部 都市計画課

電話：04-2998-9192 FAX：04-2998-9163

E-Mail：a9192@city.tokorozawa.lg.jp

市外の問合せ先

●民間施設緑化補助事業 窓口

・埼玉県環境部みどり自然課（身近なみどり担当）

電話：048-830-3149 FAX：048-830-4775

E-Mail：a3140-13@pref.saitama.lg.jp

●さいたま緑のトラスト運動 窓口

・埼玉県環境部みどり自然課

電話：048-830-3150 FAX：048-830-4775

E-Mail：a3140-13@pref.saitama.lg.jp

・公益財団法人さいたま緑のトラスト協会

電話：048-824-3661 FAX：048-832-0292

E-Mail：main@saitama-greenerytrust.com



所沢市環境クリーン部みどり自然課
〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目 1 番地の 1
TEL 04-2998-9373 FAX 04-2998-9195



平成 28 年 1 月 発行